

## プレスフィットコネクタによるカラムの接続方法

### 用意するもの

1. プレスフィットコネクタ (部品番号: 5181-3396, 5ヶ入)
2. 接続するキャピラリカラム
3. 回転式キャピラリカラムカッター (部品番号: 5183-4620)  
・上記カラムカッタがない場合...セラミック カラムカッタ(5181-8836 奨めない)
4. エタノール 少々
5. ピペット
6. ルーペ (部品番号: 430-1020, あったほうが便利)

### 接続の仕方

#### 接続部をきれいにカット

接続するカラムの先端を回転式キャピラリカラムカッターで切ります。使い方は商品のマニュアルをご参照ください。

\* セラミックカラムカッタを使う場合、ポリイミド皮膜に切れ目を入れ(ポリイミド皮膜...キャピラリカラムの外側を被っている樹脂皮膜)切れ目の両側のカラムをつまみ、引っ張りながら切れ目が外側になるようにしてカラムを曲げ、カラムを折ります。(この時、直角に切れ目をつけるようにしてください。)

! 2本のカラムともきれいにカットしてください。

#### 切断面の確認

ルーペで、切断面を確認する。

! 切断面が直角になっているかポリイミドの大きな切れ端などがないかを確認してください。

#### 接続部の清浄

カラムの接続する部分の皮脂や汚れをエタノールでよく拭き取る。

! 皮脂などが付いているとカラムとコネクタが密着しません。

#### カラムの接続

清浄で直角にカットされたカラム端をプレスフィットコネクタに強く差しこむ。

! この時、プレスフィットコネクタの内側にポリイミドの完全なリングができるまで押し込んでください。いくら押し込んででもリングができない場合は、カラムが直角に切れていないか、汚れている可能性があります。

#### 接続の確認

2本のカラムを接続したら、カラムを両方向から軽く引っ張り、はずれないことを確認する。

! 接続したカラムをGCに取り付けるときは接続部が直線になるようにカラムハンガーに固定してください。無理な力がかかっているとはずれやすくなります。

#### 漏れチェック

2本のカラムを接続しおわったらGC注入口に接続し、漏れチェックをする。

キャリアガスを流して接続部に少量のエタノールをかける。漏れがあれば泡がプクプク出るのでもう一度しっかり差し込むか、始めからやり直す。

! 始めからやり直す場合は、新しいプレスフィットコネクタをお使いください。一度差し込むとプレスフィットの内側にポリイミドが残る場合があります。2度目はうまく接続できないことがあります。

! 大量にキャリアガスが漏れている場合も泡ができないので、注意して見てください。

#### 接続の固着

泡が出なければ接続完了。キャリアガスを流しながら、分析の使用最高温度で10分ほど加熱する。

- 上手に接続するコツ -

\* カラムは直角にカットしてください。

直角に切れていない場合、リークしやすくなり最悪の場合ははずれることがあります。

\* 接続部はきれいに清浄してください。

皮脂などの汚れが付いていると密着しにくく(外れやす)くなります。